



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年7月31日

上場会社名 株式会社 ニフコ

上場取引所 東

コード番号 7988 URL <https://www.nifco.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柴尾 雅春

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 最高財務責任者 (氏名) 矢内 俊樹 TEL 03-5476-4853

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

## (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	86,139	△2.1	11,889	17.2	14,145	5.5	8,842	△9.1
2024年3月期第1四半期	87,977	21.1	10,146	28.0	13,408	19.3	9,728	21.1

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 15,975百万円 (42.1%) 2024年3月期第1四半期 11,240百万円 (△25.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	89.97	88.87
2024年3月期第1四半期	97.50	-

(注) 2024年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	365,314	252,807	68.4	2,559.68
2024年3月期	380,405	247,052	64.1	2,455.97

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 249,716百万円 2024年3月期 243,695百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	32.00	-	32.00	64.00
2025年3月期	-	-	-	-	-
2025年3月期(予想)	-	35.00	-	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	340,000	△8.5	45,000	2.4	44,200	△11.0	26,100	43.0	262.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有  
新規 1社 (社名) 一、除外 2社 (社名) Nifco Germany GmbH、Nifco KTW America Corporation  
当社の特定子会社でありましたNifco Germany GmbH、及びNifco KTW America Corporationは、2024年4月に事業譲渡が完了したため、特定子会社から除外されております。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有  
(注)詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	100,257,053株	2024年3月期	100,257,053株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	2,699,366株	2024年3月期	1,031,017株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	98,284,209株	2024年3月期1Q	99,780,742株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	7
(四半期連結損益及び包括利益計算書に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、製造業では、一部の自動車メーカーの不祥事に伴う生産・出荷停止の影響が緩和したほか、素材業種を中心に価格転嫁の進展を受けて景況感が改善いたしました。また、非製造業は、物価高を受けた個人消費の伸び悩みなどを受けて小売を中心に弱含みとなったものの、価格転嫁の進展やオンライン取引の増加などを背景に、物流関連の景況感が改善いたしました。海外に目を転じますと、中国経済では、春節需要の復活で国内観光や外食を中心に盛り上がり、小売売上高が増加いたしました。また、EVを中心とした自動車や家電などの輸出も増え、減少傾向に歯止めがかかりました。欧州経済については、世界的な財需要の低迷を背景に中間財の減産が続いているほか、金融引き締めなどを受け、耐久消費財の生産も減少するなど、景気は引き続き低調となりました。米国経済においては、非製造業は、雇用が縮小した一方、事業活動の拡大や新規受注の増加が全体の景況感を押し上げました。また、製造業においても、鉱工業生産のうち、鉱業が減少したものの、電気・ガスなどの公益や自動車などの製造業が全体を押し上げ、企業の景況感は改善いたしました。このように世界経済は、持ち直しており、企業の景況感は改善に向かっております。国・地域別にみると、米国とアジアの景況感が良好であり、特に中国で大きく改善いたしました。米国の需要が予想以上に強まる展開や、米欧による中国の過剰生産への対抗措置が強まる可能性などもあり、依然として先行き不透明な状況にあります。

当社グループの主要顧客であります自動車メーカーにつきましては、日本市場では、当第1四半期連結累計期間において、対前年同期比で、生産台数、販売台数ともに下回った状況となりました。海外におきましては、当第1四半期連結累計期間の対前年同期比で、米国市場では、生産台数、販売台数ともに下回り、欧州市場は、生産台数は下回ったものの、販売台数は上回りました。中国市場及びインド市場では、生産台数、販売台数ともに大幅に上回りました。

このような状況の中、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比2.1%減の861億3千9百万円となりました。

利益面では、ドイツ系OEM事業で苦戦を強いられておりましたNifco Germany GmbH、及びNifco KTW America Corporationの事業譲渡に加え、管理可能経費削減の取り組みなどにより販売費及び一般管理費が抑制され、営業利益は前年同期比17.2%増の118億8千9百万円となりました。経常利益は主に円安が進み為替差益が発生したことにより、前年同期比5.5%増の141億4千5百万円となりました。法人税等として50億5千7百万円計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比9.1%減の88億4千2百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

各セグメントの売上高は、外部顧客に対するものであります。

#### ①合成樹脂成形品事業

合成樹脂成形品事業は、国内においては、自動車の生産活動の停滞を受け、減収となりました。海外におきましては、米国、中国及びインドなどにおいて自動車の生産活動が持ち直したことや、為替が円安に向かったことなどをを受け好調でしたが、ドイツ系顧客向けビジネスを行っておりましたNifco Germany GmbH、及びNifco KTW America Corporationの事業譲渡もあり減収となりました。結果として、合成樹脂成形品事業全体としては減収となりました。利益面においては、ドイツ系顧客向けビジネスを行っておりましたNifco Germany GmbH、及びNifco KTW America Corporationの事業譲渡に加え、管理可能経費削減の取り組みなどにより販売費及び一般管理費が抑制され、増益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の合成樹脂成形品事業の売上高は前年同期比3.5%減の770億7千2百万円となりました。セグメント利益につきましては、前年同期比19.2%増の120億2千8百万円となりました。

#### ②ベッド及び家具事業

ベッド及び家具事業は、国内・海外ともにホテル向け需要が高まり、加えて国内においては販売店向けの売上が伸び、海外においては中国を中心に卸・小売向けが堅調に推移して、円安による為替影響もあり、増収増益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間のベッド及び家具事業の売上高は前年同期比11.2%増の90億6千7百万円となりました。セグメント利益につきましては、前年同期比6.1%増の14億5千5百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ150億9千1百万円減少して、3,653億1千4百万円となりました。主な減少要因としては、商品及び製品が39億2千9百万円、売掛金が29億4千3百万円それぞれ減少しております。また、現金及び預金が63億5千7百万円減少したことなどによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ208億4千6百万円減少して、1,125億7百

万円となりました。減少要因としては、事業譲渡損失引当金が87億5千5百万円、短期借入金が52億5千6百万円減少したことなどによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ57億5千5百万円増加して、2,528億7百万円となりました。自己株式が64億2千6百万円増加したものの、利益剰余金が56億5千4百万円増加したこと、及び円安により為替換算調整勘定が70億9千万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月13日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	149,784	143,427
受取手形	1,750	1,805
電子記録債権	8,114	8,290
売掛金	57,410	54,467
契約資産	1,171	505
有価証券	1,144	16
商品及び製品	27,414	23,484
仕掛品	3,173	2,550
原材料及び貯蔵品	10,289	9,126
その他	9,844	8,503
貸倒引当金	△292	△282
流動資産合計	269,806	251,895
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	45,618	46,401
機械装置及び運搬具（純額）	17,675	17,925
工具、器具及び備品（純額）	3,966	4,036
金型（純額）	4,614	4,596
土地	18,973	20,576
リース資産（純額）	46	49
建設仮勘定	2,851	3,337
その他	3,207	3,065
有形固定資産合計	96,953	99,987
無形固定資産	1,407	1,537
投資その他の資産		
投資有価証券	4,764	4,362
繰延税金資産	1,847	1,903
退職給付に係る資産	2,829	2,846
その他	2,797	2,781
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	12,238	11,894
固定資産合計	110,599	113,419
資産合計	380,405	365,314

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,601	26,270
1年内償還予定の社債	—	10,000
短期借入金	5,529	272
1年内返済予定の長期借入金	10,075	10,060
未払金	6,543	6,507
未払法人税等	5,523	4,863
契約負債	4,899	4,567
賞与引当金	2,924	1,169
事業譲渡損失引当金	10,068	1,313
その他	11,924	10,765
流動負債合計	84,091	75,790
固定負債		
社債	35,000	25,000
長期借入金	285	270
繰延税金負債	6,344	6,215
退職給付に係る負債	1,886	1,852
その他	5,746	3,378
固定負債合計	49,262	36,716
負債合計	133,353	112,507
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,290	7,290
資本剰余金	—	—
利益剰余金	215,302	220,956
自己株式	△3,608	△10,035
株主資本合計	218,983	218,210
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,028	1,689
繰延ヘッジ損益	△21	△16
土地再評価差額金	6	6
為替換算調整勘定	23,019	30,110
退職給付に係る調整累計額	△320	△284
その他の包括利益累計額合計	24,712	31,505
非支配株主持分	3,356	3,091
純資産合計	247,052	252,807
負債純資産合計	380,405	365,314

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	87,977	86,139
売上原価	64,142	60,272
売上総利益	23,834	25,867
販売費及び一般管理費	13,687	13,978
営業利益	10,146	11,889
営業外収益		
受取利息	139	326
投資有価証券評価益	34	33
為替差益	3,119	1,701
その他	230	309
営業外収益合計	3,524	2,371
営業外費用		
支払利息	172	67
その他	89	47
営業外費用合計	262	114
経常利益	13,408	14,145
特別利益		
固定資産売却益	100	3
特別利益合計	100	3
特別損失		
固定資産除売却損	44	13
特別損失合計	44	13
税金等調整前四半期純利益	13,464	14,136
法人税等	3,543	5,057
四半期純利益	9,921	9,078
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,728	8,842
非支配株主に帰属する四半期純利益	192	235
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	344	△338
繰延ヘッジ損益	16	5
為替換算調整勘定	995	7,194
退職給付に係る調整額	△37	35
その他の包括利益合計	1,319	6,896
四半期包括利益	11,240	15,975
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,000	15,636
非支配株主に係る四半期包括利益	239	338

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(第三者割当による自己株式の処分)

当社は、2024年5月17日開催の取締役会において、当社の中長期的な株主価値に対する従業員のモチベーション向上を企図して、当社の発行する普通株式を、ニフコ従業員持株会の会員に対し、特別奨励金として付与するインセンティブ・プランの導入を決定いたしました。当社は、2024年7月25日、ニフコ従業員持株会を処分先とする第三者割当による自己株式の処分を行いました。

自己株式の処分の概要

(1) 処分の期日	2024年7月25日
(2) 処分株式の種類	当社普通株式
(3) 処分株式の数	77,320株
(4) 処分価額	1株につき3,862円
(5) 処分総額	298,609,840円
(6) 処分の方法	第三者割当
(7) 処分先	ニフコ従業員持株会

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

## 1 偶発債務

公正取引委員会の立入調査

当社の韓国の連結子会社は、2023年7月5日（現地時間）に合成樹脂成形品の取引に関して独占規制及び公正取引に関する法律違反の疑いがあるとの理由で、韓国公正取引委員会の立入調査を受けました。

現時点では調査継続中ですが、この結果により、当社グループの経営成績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

(四半期連結損益及び包括利益計算書に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	3,424百万円	3,226百万円
のれんの償却額	82	—

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益及び 包括利益計算書 計上額 (注2)
	合成樹脂 成形品事業	ベッド及び 家具事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	79,826	8,150	87,977	-	87,977
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	79,826	8,150	87,977	-	87,977
セグメント利益又は損失(△)	10,092	1,371	11,463	△1,317	10,146

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△1,317百万円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益及び 包括利益計算書 計上額 (注2)
	合成樹脂 成形品事業	ベッド及び 家具事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	77,072	9,067	86,139	-	86,139
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	77,072	9,067	86,139	-	86,139
セグメント利益又は損失(△)	12,028	1,455	13,484	△1,595	11,889

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△1,595百万円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。